

「経験, そして成長」

5組 並木 唯人

私の高校生活を一言で表すと、主体性です。この主体性という言葉は自分自身を非常によく表した言葉であると思います。まず、この言葉の意味に似た言葉に自主性というものがあります。この2つの言葉の決定的な違いは、自分で考えて行動するというところにあると言えます。主体性は、目的を定め実現に向けて責任を持って実行するという意味を含んでいます。対して自主性は、行動することに重点を置き、特に自分で目的を定めず、言い方を変えると枠に囚われたものであると思います。

私は主体性の人間だと自信を持って言うことができます。なぜならこの3年間、目的の実現に向けて取り組む中で、自分の行動によってどんなことが起き、何が得られるのか、その都度考える力を養うことができたからです。そのように考えることができた理由の1つに沢山の経験を積めたことが大きく貢献していると思います。私は、この高校生活で何かが上手くいったためしがなく、その時々何が一番善か、何をすれば成功できるのかと常に考えて行動することで、成長し続けたのです。

自分の行動が周りにどう影響するのかを考えるきっかけは、自分の経験が教えてくれます。例えば、大きな経験には受験の失敗が挙げられます。その時何を思って、どんな言葉をかけて欲しいのか、これは経験をしないと理解することは、まず無理でしょう。逆に経験すれば、他者にどのように寄りそうべきかがわかります。そして、主体性における責任は自分が得た経験に裏付けられるものだと私は考えています。また、私が自分を誇れるところは、失敗しても負けたと思わず、逃げることなく勝つまで取り組み、成長し続けた点です。このことから経験は大いなる自信になり、主体性の形成にもつながっているとも思います。

この3年間、他のみんなと比べて回り道はしたものの、様々なものを見てきました。このようにかけがえのない経験ができたのは、この学校で素敵な仲間と出会えたからだと思います。経験し、そして成長する。これを目標に掲げ、受験までの数日間悔いのないように頑張ります。